

島田市総合計画後期基本計画策定に係る
高校生アンケート結果報告書

平成25年 8 月

島田市

1 調査の概要

○調査の目的

「島田市総合計画後期基本計画（平成26年度～平成30年度）」を策定する際の基礎資料として、島田市の将来を担う高校2年生の日常生活における意識をはじめ、まちの将来に対する考えや意見、まちづくりに対する提案などを把握することを目的としています。

○アンケートの実施方法

(1) 対 象 島田市内の高等学校に通う高校2年生

（クラス単位で実施。実施するクラスは学校に一任）

- ・ 県立島田高等学校 （1クラス）
- ・ 県立金谷高等学校 （1クラス）
- ・ 県立島田商業高等学校（1クラス）
- ・ 県立島田工業高等学校（1クラス）
- ・ 私立島田樟誠高等学校（1クラス）

計188人

(2) 調査手法 無記名方式

(3) 設問数 全13問（市外居住者は、全12問）※最後の設問のみ自由記載方式

(4) 調査期間 平成25年6月24日(月)～平成25年7月10日(水)

○集計・表記方法

- ・ 集計結果は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを百分率（%）で表示しています。
- ・ 「居住地区が不明」、「市内・市外双方の設問に回答」の生徒がいたため、各設問の総数は一致していません。
- ・ 自由記述回答については、整理・要約して記載しています。

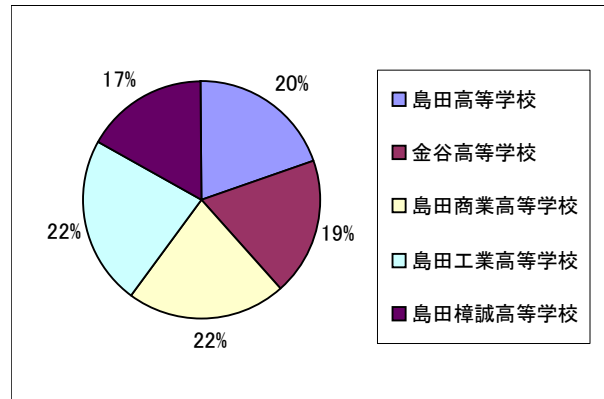
○企画・編集・修正・分析

島田市 企画部 企画調整課

2 回答者の属性

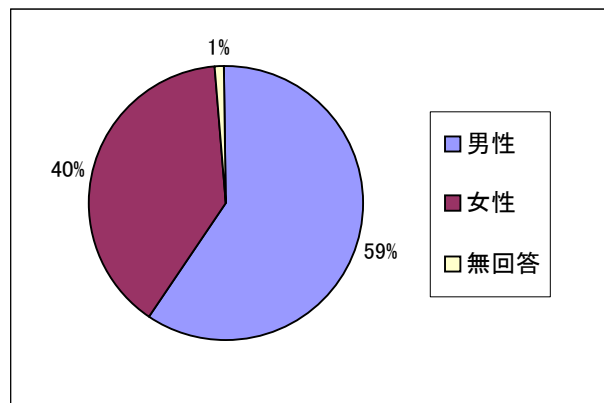
(1) アンケート協力者の人数（学校別人数）

高校名	人数	構成比
島田高等学校	37	19.7%
金谷高等学校	35	18.6%
島田商業高等学校	41	21.8%
島田工業高等学校	43	22.9%
島田樟誠高等学校	32	17.0%
総数	188	100.0%



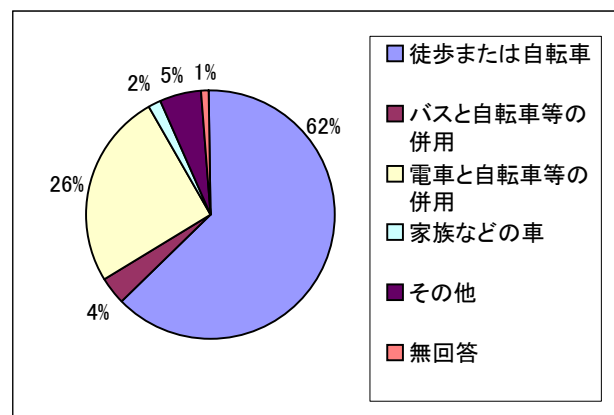
(2) 性別

性別	人数	構成比
男性	111	59.0%
女性	75	39.9%
無回答	2	1.1%
総数	188	100.0%



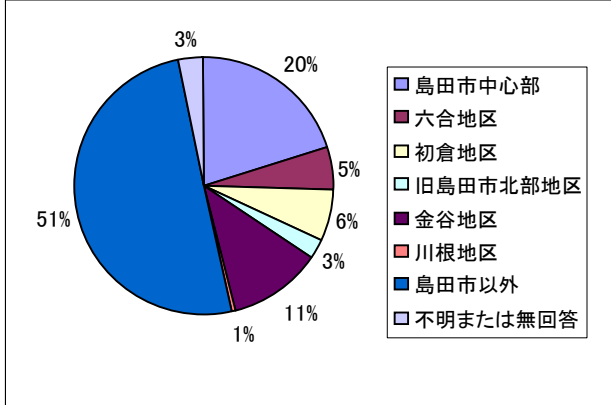
(3) 通学手段

通学手段	人数	構成比
徒歩または自転車	117	62.2%
バスと自転車等の併用	7	3.7%
電車と自転車等の併用	49	26.1%
家族などの車	3	1.6%
その他	10	5.3%
無回答	2	1.1%
総計	188	100.0%



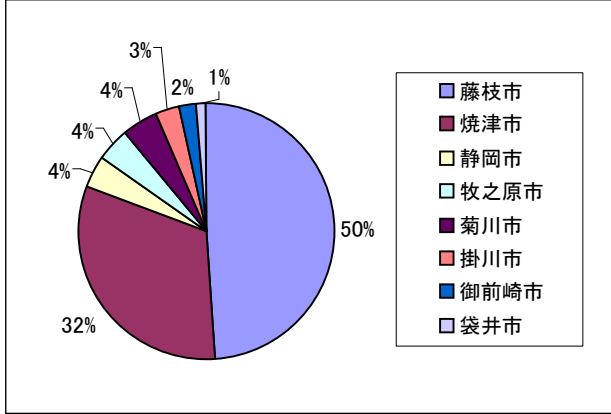
(4) 居住地区

居住地区	人数	構成比
島田市中心部	38	20.2%
六合地区	10	5.3%
初倉地区	12	6.4%
旧島田市北部地区	5	2.7%
金谷地区	21	11.2%
川根地区	1	0.5%
島田市以外	95	50.5%
不明または無回答	6	3.2%
総数	188	100.0%



市外居住者の居住市町

市町	人数	構成比
藤枝市	45	48.9%
焼津市	29	31.5%
静岡市	4	4.3%
牧之原市	4	4.3%
菊川市	4	4.3%
掛川市	3	3.3%
御前崎市	2	2.2%
袋井市	1	1.1%
総数	92	100.0%

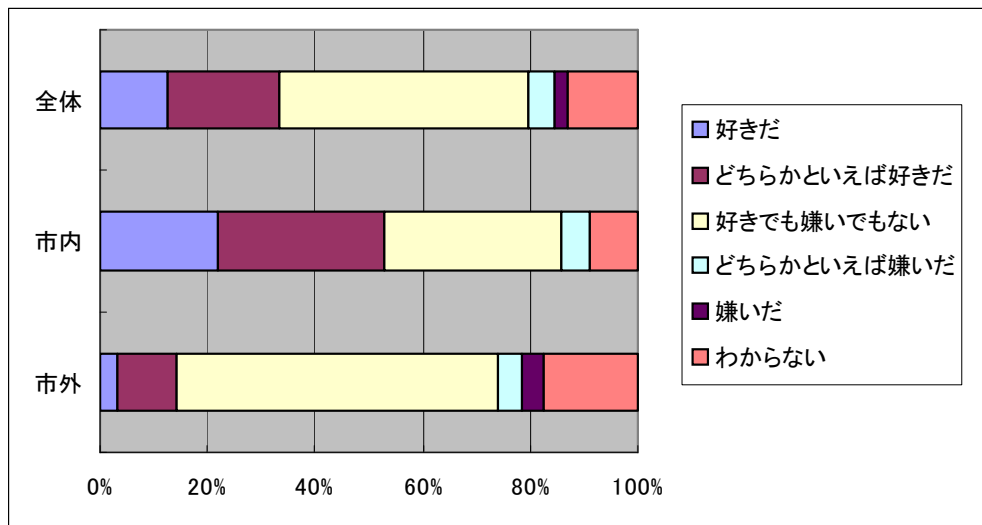


調査対象者の居住地は、不明者を除けば、市内・市外がほぼ同数である。このことは、市内在住者および市外在住者の両視点から見た島田市の姿を把握することを目的とした当アンケート調査にとって好都合となった。

3 個別調査結果

(1) あなたは今の島田市が好きですか。

	全体	構成比	市内	構成比	市外	構成比
好きだ	23	12.6%	20	22.0%	3	3.3%
どちらかといえば好きだ	38	20.8%	28	30.8%	10	10.9%
好きでも嫌いでもない	85	46.4%	30	33.0%	55	59.8%
どちらかといえば嫌いだ	9	4.9%	5	5.5%	4	4.3%
嫌いだ	4	2.2%	0	0.0%	4	4.3%
わからない	24	13.1%	8	8.8%	16	17.4%
総数	183	100.0%	91	100.0%	92	100.0%



市内在住者と市外在住者で意識に大きな差異が見られた。

「好きだ」と「どちらかといえば好きだ」を合わせた回答は、市内在住者が半数以上の53%であるのに対し、市外在住者は14%と大きな差を生じた。これは、誰もが生まれ育った郷土への愛着が強いことの表れと見ることができる。

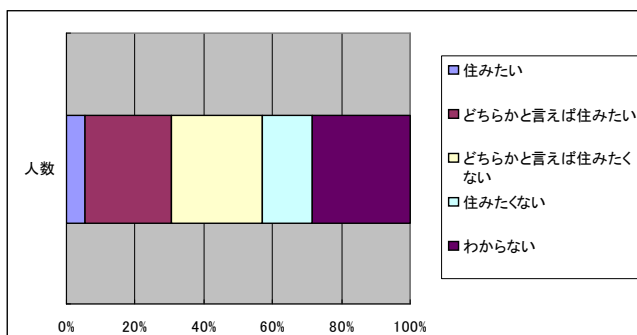
一方、「嫌いだ」と「どちらかといえば嫌いだ」の合計は、市内在住者・市外在住者ともに数パーセントにとどまり、島田市に悪い印象を持っている者がごく少数であることが分かる。

(2) あなたは、将来（働くように）なっても島田市に住みたいですか。

(市外居住者：将来、島田市に住みたいと思いますか。)

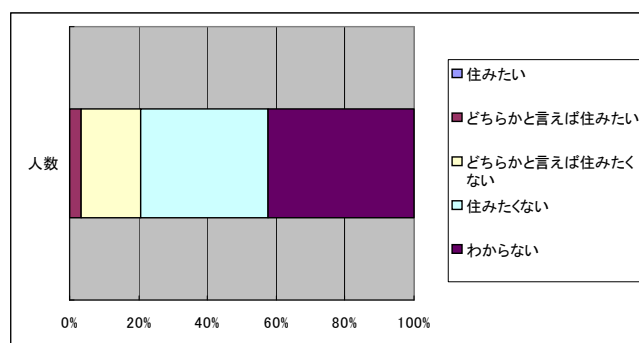
【市内居住者の回答】

	人数	構成比
住みたい	5	5.5%
どちらかと言えば住みたい	23	25.3%
どちらかと言えば住みたくない	24	26.4%
住みたくない	13	14.3%
わからない	26	28.6%
総数	91	100.0%



【市外居住者の回答】

	人数	構成比
住みたい	0	0.0%
どちらかと言えば住みたい	3	3.3%
どちらかと言えば住みたくない	16	17.4%
住みたくない	34	37.0%
わからない	39	42.4%
総数	92	100.0%

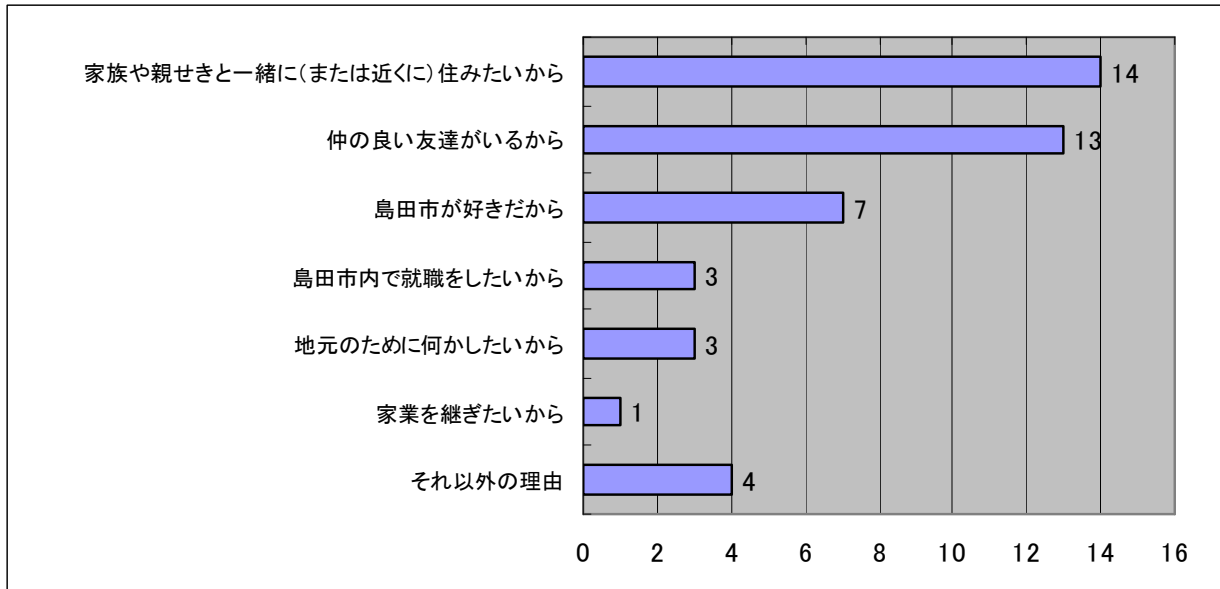


市内在住者・市外在住者ともに、一番多かった回答は「わからない」であり、市内在住者の約3割、市外在住者の約4割となった。これは、高校生にとっては、将来の進路が最も重要であり、居住地はこれによって変化しようと考えていることに原因があると思われる。

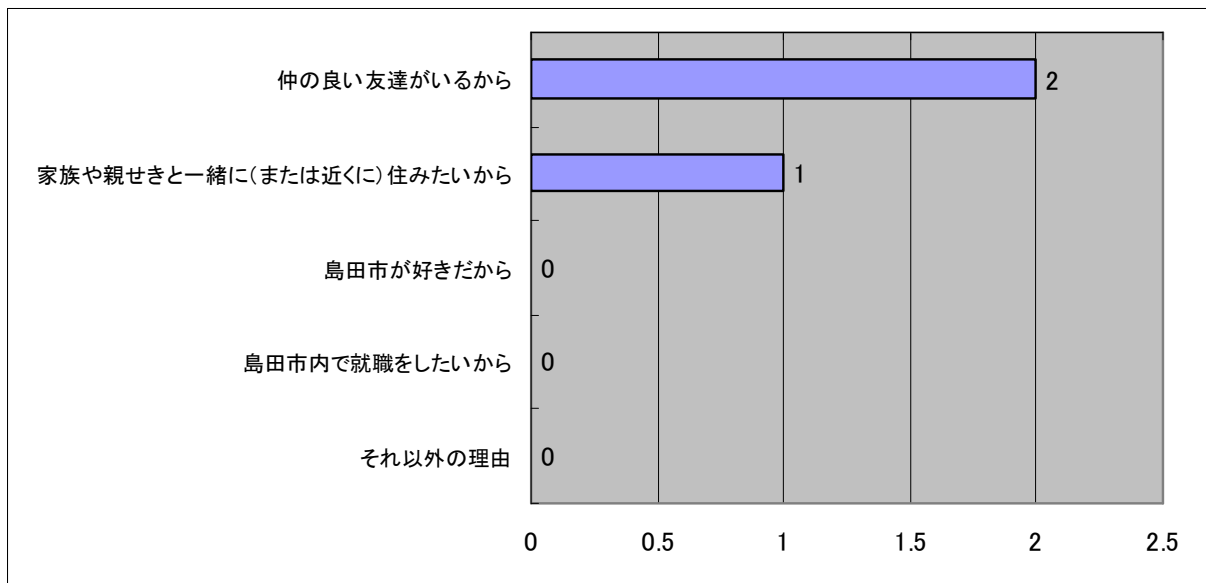
また、「住みたい」と「どちらかといえば住みたい」を合わせた回答が、市内在住者では30%に達したのに対し、市外在住者では3%という低い数値となった。これは、(1)の問いでの島田市への愛着度の差が如実に反映された結果と考えられる。

(3) (2) で「住みたい」「どちらかといえば住みたい」（市外居住者：「住みたいと思う」「どちらかといえば住みたいと思う」と答えた人は、その理由を教えてください。（複数回答可）

【市内居住者の回答】



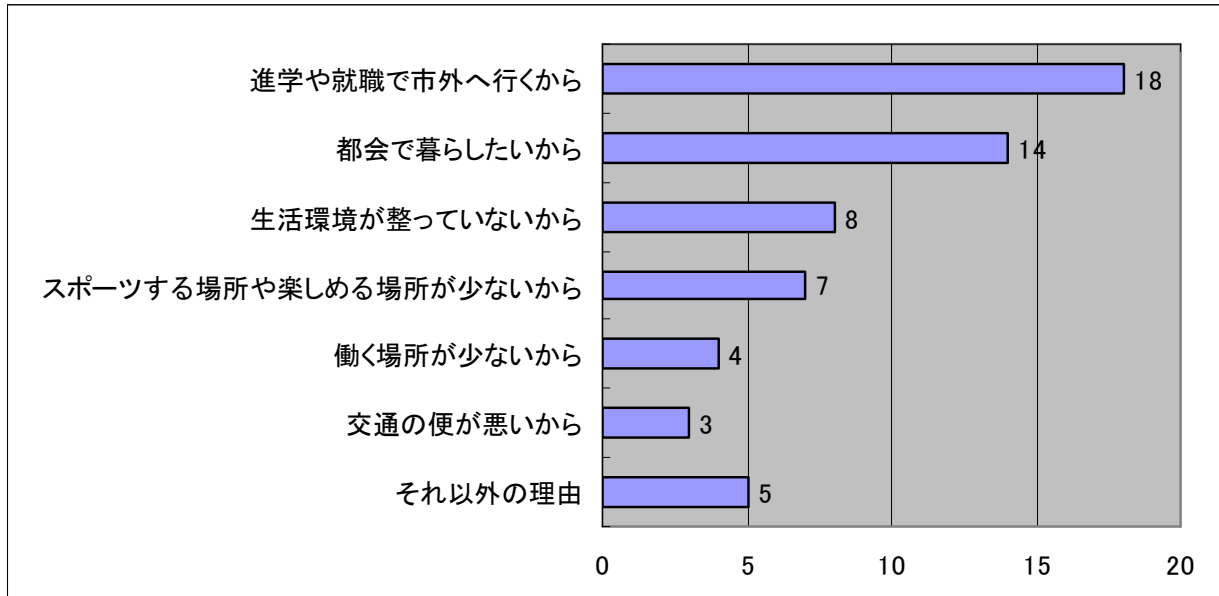
【市外居住者の回答】



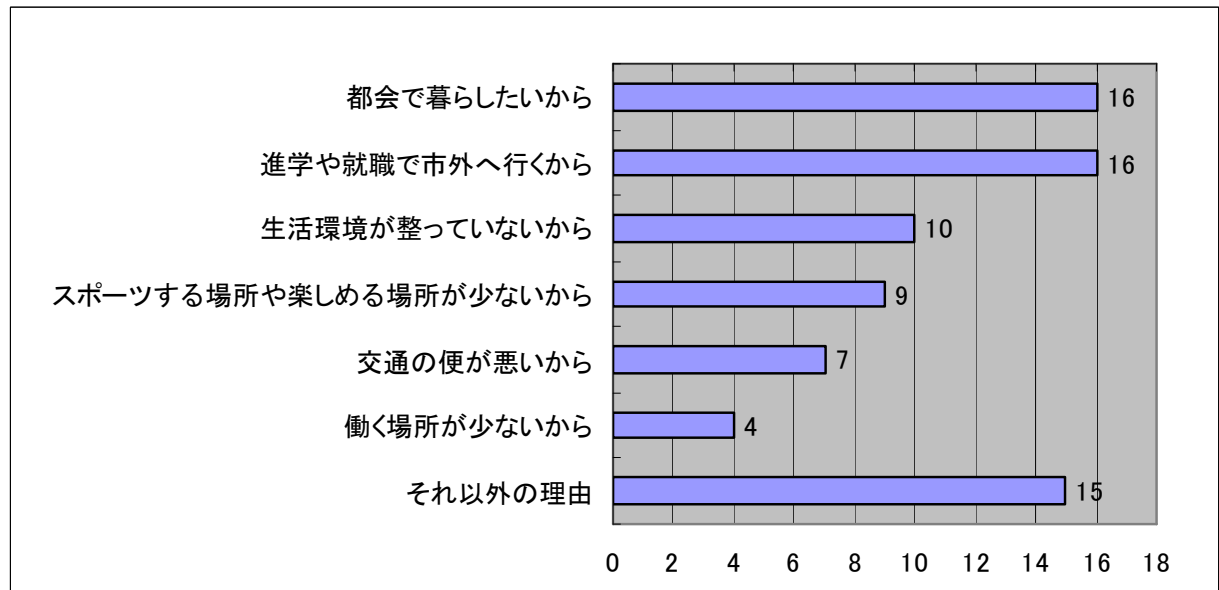
将来も島田市に住みたい理由としては、「島田市が好きだから」よりも、家族や親戚、友達など自分と関わりのある人の存在が大きく影響している。高校生にとって、居住地の選択は、地域そのものや暮らしやすさなどの居住環境よりも、親しい人とのつながりに重点が置かれていることが分かる。

(4) (2)で「どちらかと言えば住みたくない」「住みたくない」と答えた人は、その理由を教えてください。（複数回答可）

【市内居住者の回答】



【市外居住者の回答】

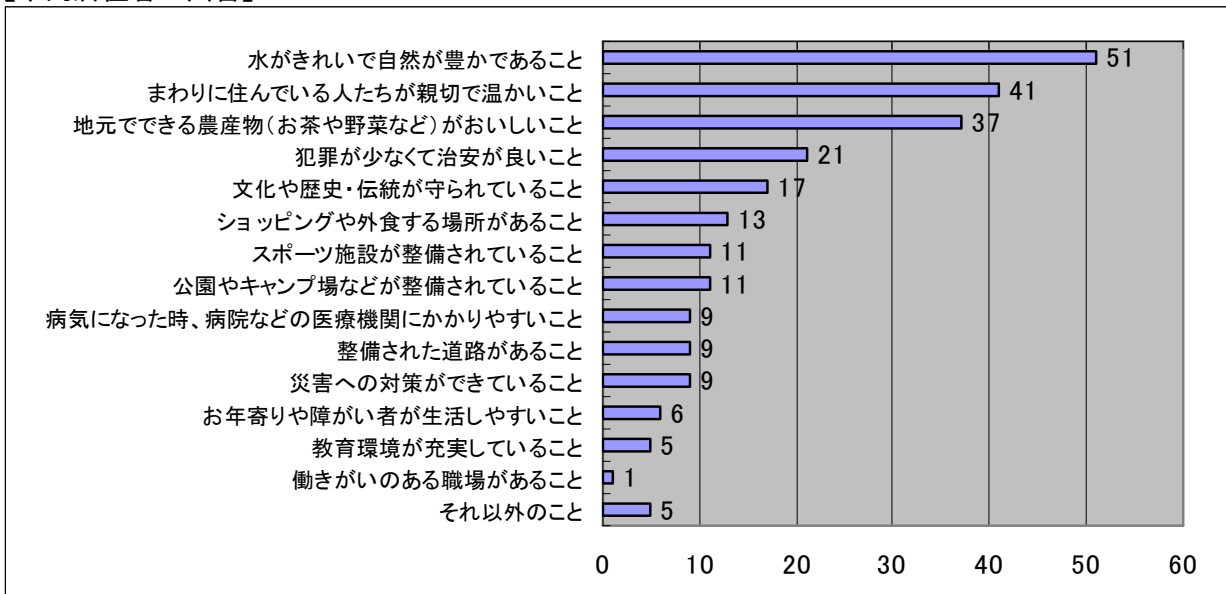


市内居住者・市外居住者ともに、将来、他地域での生活を希望する理由として、「進学や就職で他地域へ行くから」「都会で暮らしたいから」など、将来の進路や都会での暮らしの魅力に起因する理由が上位を占めた。

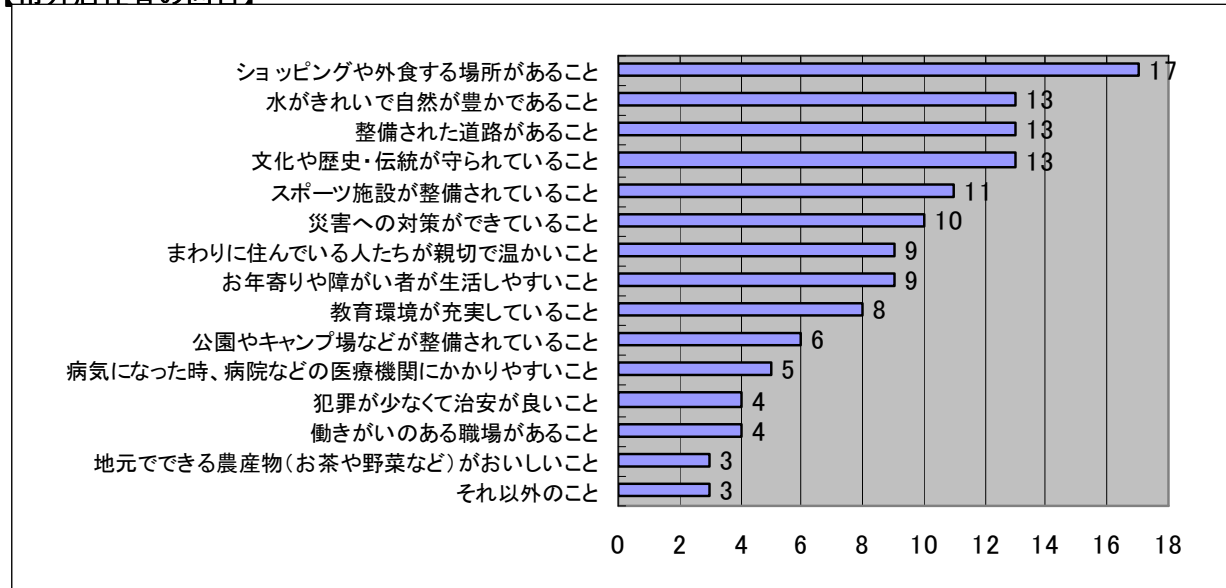
ただし、「生活環境が整っていない」「スポーツ施設や楽しめる場所の不足」など、島田市の生活基盤に不便や不満を感じていることを理由に挙げた者もある程度の数に上った。

(5) 島田市に対して、満足していることは何ですか。(市外居住者：あなたが住んでいる市町より、島田市のほうがよいと感じることは何ですか。)(複数回答可)

【市内居住者の回答】



【市外居住者の回答】



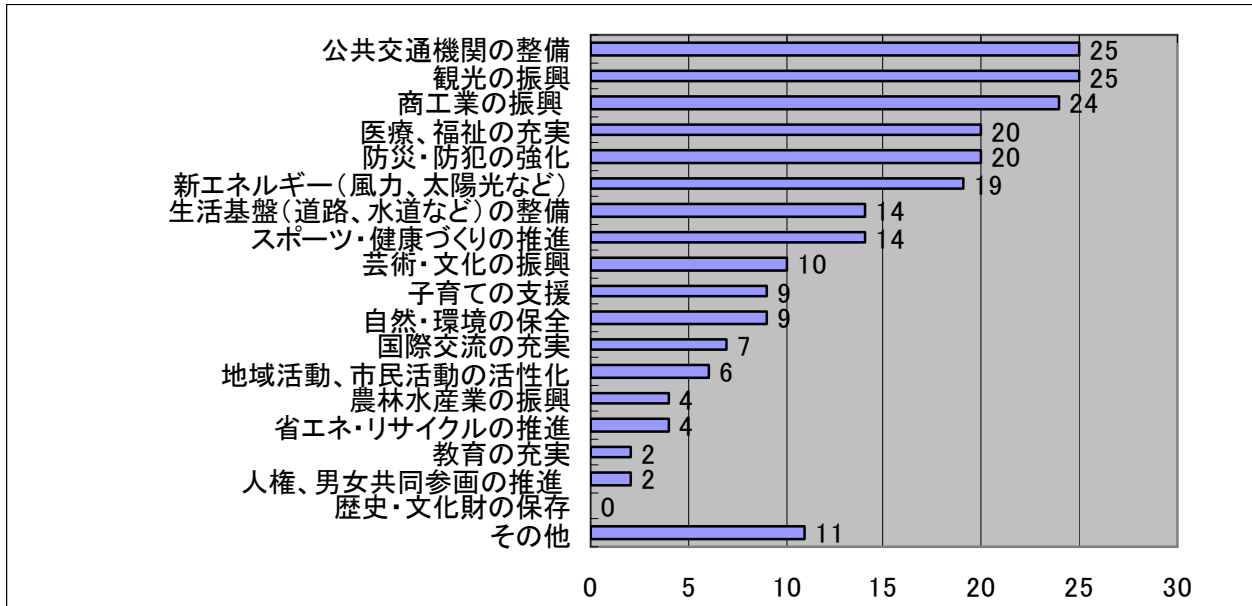
市内居住者が挙げた島田市の魅力は、「水がきれいで自然が豊かなところ」「周りの人が親切なところ」「地元の農産物がおいしいこと」の上位3位までで全体の半数を上回った。これに対し、ショッピングやスポーツ施設、公園・道路などの都市機能の充実を理由に挙げた者は少数であった。このことから、高校生にとってのまちの魅力が、自然や人柄といった島田市が持つ固有の財産であることが読み取れる。併せて、今後、市として都市施設の整備にも力を注ぐ必要があることを示唆している。

一方、市外居住者ではまったく予想外の結果となった。市外在住者から見た島田市の魅力は、最上位の「ショッピングや外食する場所があること」や、2位の「整備された道路」「文化、歴史・伝統」など、市内在住者の回答内容とは大きな差異を生じた。これは、市外在住者が島田市の魅力を、自分の住んでいるまちとの比較という視点により選択していることが原因と思われる。

(6) 島田市に不足していると思うことは何ですか。(5つまで選択可)

【市内居住者のみ回答】

【市内居住者の回答】

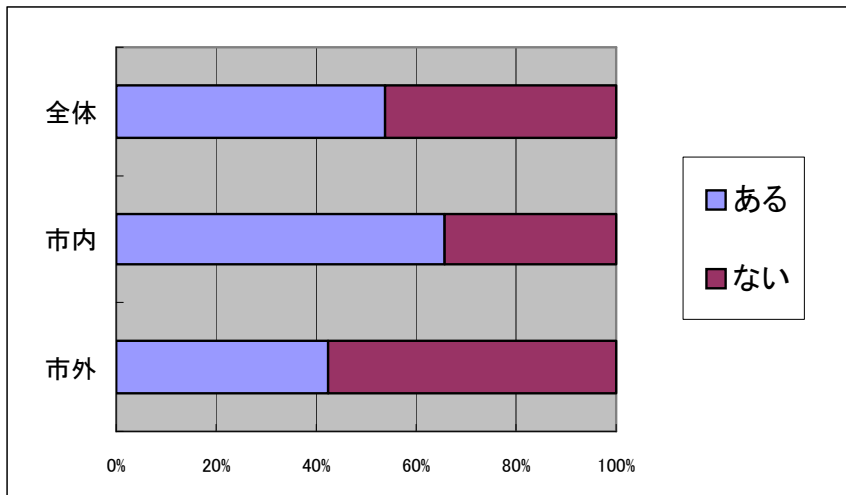


市内在住者が、(5)の問いで島田市の魅力として、「水がきれいで自然が豊かなところ」を第一に挙げる一方、力を入れてほしい点の上位には、「公共交通機関の整備」や「観光の振興」「商工業の振興」といった、都市としての利便性の向上や産業の振興を挙げる者が多数に上った。これは、自然を守ることの重要性を十分理解しつつ、便利で活力のある生活環境の充実も重要であると感じていることの表れと捉えられる。

また、「医療・福祉の充実」や「防災・防犯の強化」、さらに「新エネルギー」など、生活に密着した環境の整備を望む声も多く見られ、安心・安全の確保といった生活の質的向上についても普段の生活の中で意識している高校生の姿を垣間見ることができる。

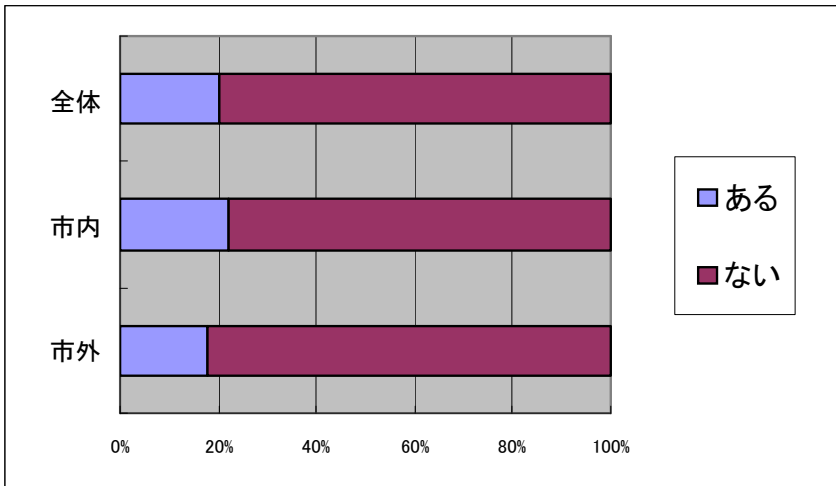
(7) あなたは富士山静岡空港へ行ったことがありますか。 [学校活動以外]

	全体	構成比	市内	構成比	市外	構成比
ある	98	53.8%	59	65.6%	39	14.3%
ない	84	46.2%	31	34.4%	53	19.5%
総数	182	100.0%	90	100.0%	272	33.8%



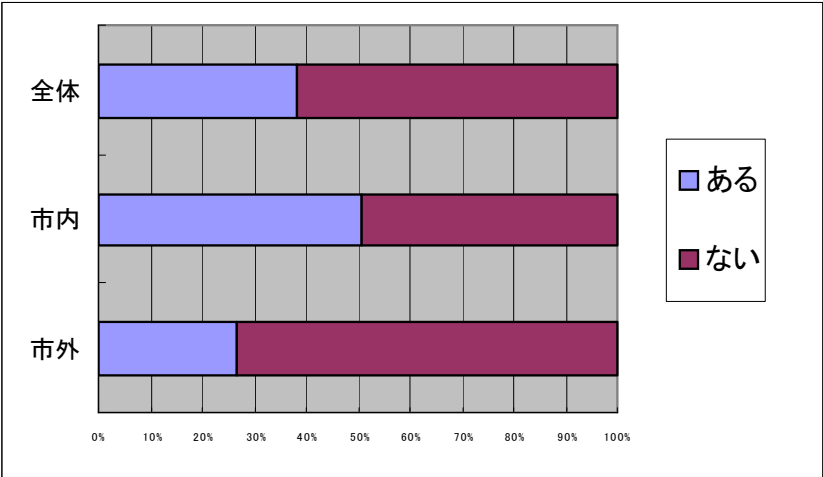
(8) (7) で「ある」と答えた人は、富士山静岡空港で飛行機に乗り降りしたことがありますか。
(乗る、降りる、どちらかでもあれば「ある」と回答。)

	全体	構成比	市内	構成比	市外	構成比
ある	20	20.4%	13	22.0%	7	17.9%
ない	78	79.6%	46	78.0%	32	82.1%
総数	98	100.0%	59	100.0%	39	100.0%



(9) 新東名の島田金谷インターチェンジを利用して、外出したことはありますか。 [学校活動以外]

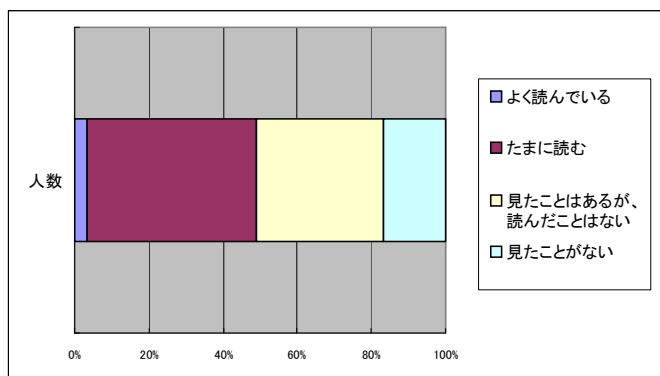
	全体	構成比	市内	構成比	市外	構成比
ある	64	38.3%	41	50.6%	23	26.7%
ない	103	61.7%	40	49.4%	63	73.3%
総数	167	100.0%	81	100.0%	86	100.0%



(10) あなたは、島田市の広報紙「広報しまだ」を読んだことはありますか。
 (市外居住者：あなたが住んでいる市町の広報紙を読んだことがありますか。)

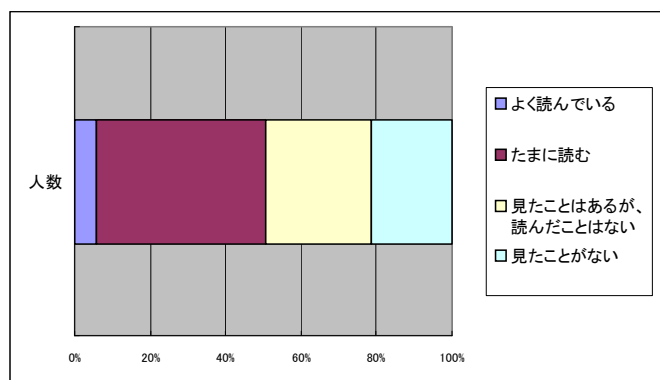
【市内居住者】

	人数	構成比
よく読んでいる	3	3.3%
たまたま読む	41	45.6%
見たことはあるが、 読んだことはない	31	34.4%
見たことがない	15	16.7%
総数	90	100.0%



【市外居住者】

	人数	構成比
よく読んでいる	5	5.6%
たまたま読む	40	44.9%
見たことはあるが、 読んだことはない	25	28.1%
見たことがない	19	21.3%
総数	89	100.0%



市内居住者・市外在住者ともに同様の結果となった。

住んでいるまちの広報紙を「よく読んでいる」と「たまたま読む」を合わせると、市内在住者・市外在住者ともに約 50%となった一方、「見たことはあるが、読んだことはない」と「見たことがない」の合計も 50%で、拮抗した結果となった。高校生のほぼ半数が日常生活の中で広報紙に目を通していているという結果から、自分の住んでいるまちに関する情報への関心がある程度有していることが分かった。

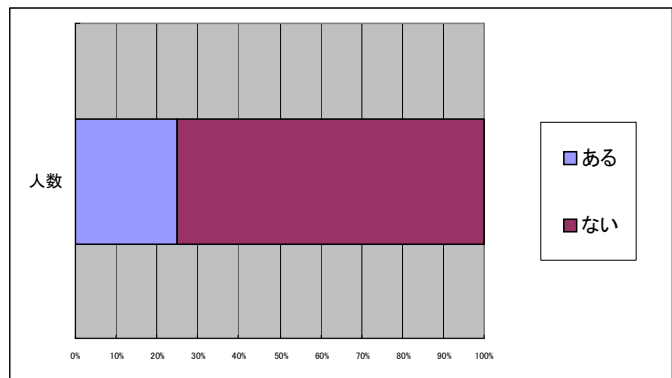
また、約 3 割の者が「見たことはあるが、読んだことはない」と回答したが、これは広報紙の存在自体は認識しているものの読むに至らないケースであり、このことは、高校生にも読みやすい、または、読もうと思わせる広報紙づくりがさらに必要であることを示唆している。

(11) あなたは、島田市のホームページを見たことはありますか。

(市外居住者：あなたが住んでいる市町のホームページを見たことはありますか。)

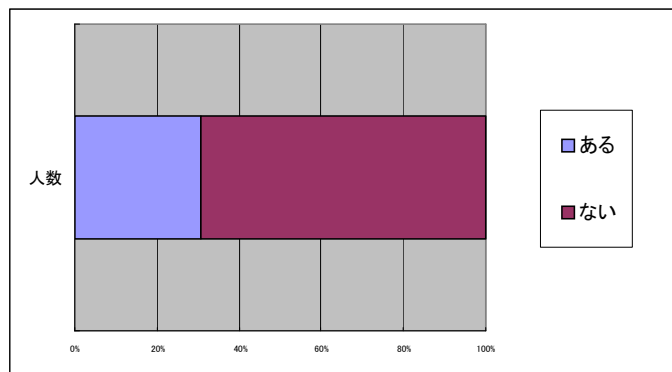
【市内居住者】

	人数	構成比
ある	22	24.7%
ない	67	75.3%
総数	89	100.0%



【市外居住者】

	人数	構成比
ある	27	30.7%
ない	61	69.3%
総数	88	100.0%



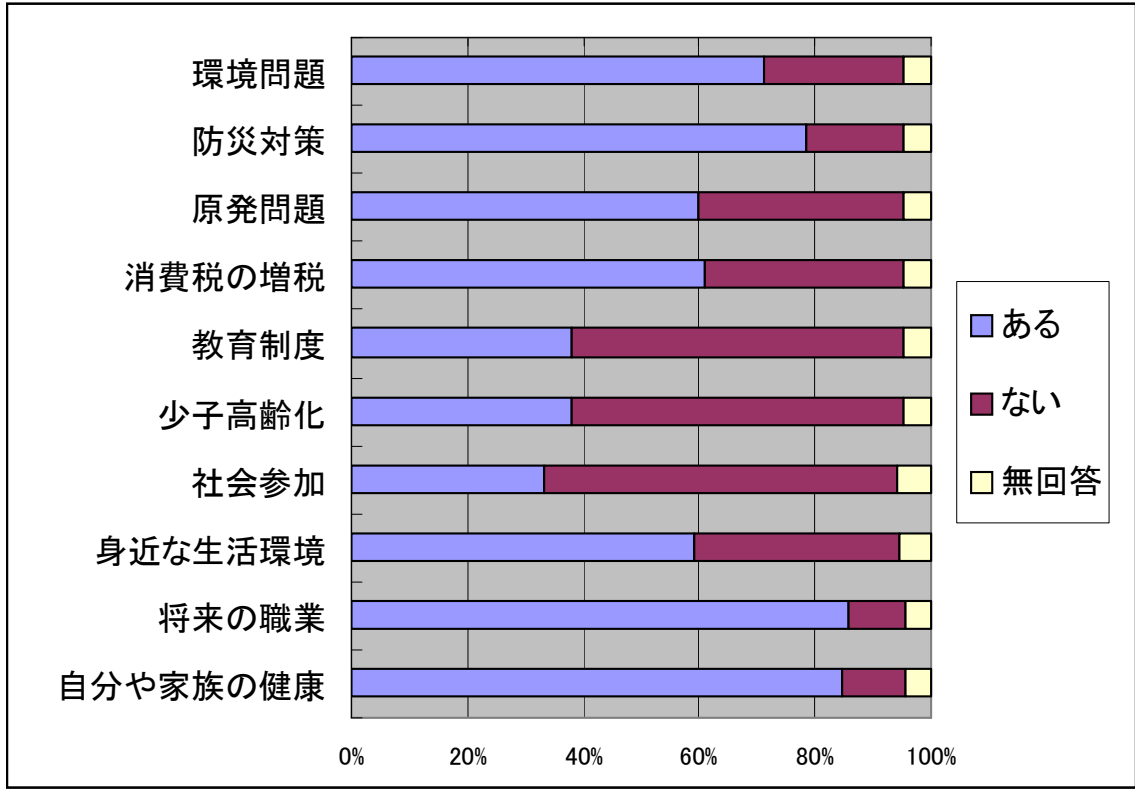
市内在住者と市外在住者で数値に若干の差はあったものの、ほぼ同じような傾向を示した。

高校生は、3人に一人または4人に一人の割合で、自分のまちのホームページを閲覧していることが分かった。

ただし、インターネットの普及が目覚ましい環境にあっても、まちのホームページを閲覧する割合は、広報紙のそれ（2人に一人）を大きく下回っている。その理由は明らかではないが、ホームページ自体の存在が認知されていないからとは考えにくく、敢えて言うならば、ホームページの掲載内容が高校生にとって必要性に乏しいということが影響しているためと推測される。

(12) あなたは、以下の項目について関心がありますか。

設問		ある	ない	無回答	総数
①	環境問題(地球温暖化など)	134	45	9	188
②	防災(地震、津波など)対策	148	32	9	189
③	原発問題	113	67	9	189
④	消費税の増税	115	65	9	189
⑤	教育制度	72	108	9	189
⑥	少子高齢化	72	108	9	189
⑦	社会参加(ボランティア活動、地域活動など)	63	115	11	189
⑧	身近な生活環境	111	67	10	188
⑨	将来の職業	161	19	8	188
⑩	自分や家族の健康	159	21	8	188



高校生が関心を持っているものは、トップから順に、「将来の職業」、「自分や家族の健康」、「防災対策」、「環境問題」と続いた。自分の進路や家族の健康などに対する関心が高いのは当然だが、自分自身や身の回りのことにとどまることなく、視野をより広く持ち、防災や環境、さらに原発といった社会問題に対しても同時に高い関心を示す高校生の姿を再確認する結果となった。

(13) あなたが「市長」だったら、どんなまちづくりをしたいですか。また何をやってみたいですか。自由に書いてください。

※自由記載のため、総合計画の体系ごとに意見を集約した。

第1章 都市生活基盤が充実し、ひとやもの、情報が活発に交流するまち

	施策の柱	市内	市外	主な意見
1	全国・世界へ広がる物流・交流拠点の形成	2	0	・静岡空港を修学旅行などで利用(1) ・国際線の充実(1)
2	総合的な道路網の整備	13	9	・道路整備(17) ・デコボコしている道路を直す(7)
3	公共交通基盤の整備	6	3	・交通の便をよくする(3) ・バスの本数を増やす(4) ・バス停を増やす(1) ・バスの利用促進(1)
4	住環境の整備	3	0	・都市化、都会化(3)
5	公園緑地の整備	1	3	・公園やスポーツ広場などを作る(4)
6	魅力ある景観の保全	0	0	
7	地域情報化と電子自治体の推進	1	0	・インターネットを使いやすくする
合計		26	15	

第2章 市民が安全・安心に暮らせるまち

	施策の柱	市内	市外	主な意見
1	地震防災対策・体制の強化	8	18	・防災対策、安心なまちづくり(12) ・原発廃止(2) ・原発について考える(1) ・工場などの安全性確認(1)
2	風水害、土砂災害対策の充実	1	0	・河川の整備(1)
3	消防・救急・救助体制の充実	0	0	
4	地域防犯体制の強化	2	5	・治安をよくする(2) ・犯罪をなくす(2) ・交番を増やす(2) ・更正させる(1)
5	交通安全対策の充実	9	10	・信号機、街灯、カーブミラーの設置(6) ・交通安全対策(4) ・歩道の整備(6) ・交通違反の取締強化(1)

				・自転車専用道路の設置（1） ・交通整備（1）
6	消費生活対策の充実	0	0	
合計		20	33	

第3章 産業がいきいきと活発なまち

	施策の柱	市内	市外	主な意見
1	農林業の振興	1	1	・農業（お茶、野菜、果物）の振興、PR活動（1） ・山の利活用（1）
2	工業の振興	3	1	・働く場所（具体的な記述なし）を増やす（2） ・大井川周辺への工場誘致（1） ・工業、IT産業の発展（1）
3	商業・サービス産業の振興	39	24	・お店（具体的な記述なし）を増やす（10） ・デパート、ショッピングモールをつくる（13） ・コンビニ、スーパーをつくる（1） ・ファストフード、レストランなどの飲食店をつくる（3） ・映画館をつくる（4） ・プールをつくる（1） ・その他（ゲームセンター、スポーツ用品店など）（5） ・遊ぶところをつくる（2） ・商店街の活性化（7） ・本通り、中心地の活性化（3） ・駅周辺の活性化（6） ・特産品を有名にする（3） ・商業の振興（1）
4	観光の振興	4	10	・イベント、祭、行事の充実（4） ・新たな観光名所をつくる（4） ・市の活性化（3） ・観光振興（2） ・蓬莱橋の保全（1） ・ゆるキャラを作る（1） ・地域のおいしいものを食べられるイベントの開催（1）
合計		47	36	

第4章 だれもが健やかで幸せに暮らせる健康・福祉のまち

	施策の柱	市内	市外	主な意見
1	地域福祉の推進	3	0	・ ボランティア活動を盛んにする (1) ・ 福祉の充実 (2)
2	次世代育成支援の推進	4	0	・ 子どもが遊べる場所 (屋外) をつくる (1) ・ 保育園、幼稚園の充実 (1) ・ 子供が住みやすい環境の整備 (1) ・ 子育て支援金給付 (1)
3	高齢者福祉の推進	2	4	・ お年寄りが安心して暮らせる施策 (3) ・ お年寄りのための施設を増やす (1) ・ 駅のバリアフリー化 (1) ・ お年寄りと学生がふれ合う機会の創出 (1)
4	障害者福祉の推進	10	8	・ 障害者が安心して暮らせる施策 (1) ・ バリアフリー (2) ・ (障害者に限らず) 誰もが住みやすい、やさしいまちづくり (12) ・ (障害者に限らず) 誰もが楽しめる施設、場所の整備 (3)
5	健康づくりの推進	1	1	・ 自殺者を減らす (1) ・ 屋外でのタバコを禁止する (1)
6	地域医療の充実	2	0	・ 大きい病院をつくる (1) ・ 医療機関を増やす (1) ・ 医療の充実 (1) ・ 病院の中心地への移転 (1)
7	国民健康保険事業の健全な運営	2	0	
合計		24	13	

第5章 自然と共生する資源環境型のまち

	施策の柱	市内	市外	主な意見
1	環境への負荷を低減させるまちづくりの推進	0	0	
2	循環型社会の推進	1	0	・ 下水道、どぶ川の改善
3	自然環境の保全と活用	10	22	・ 自然や環境の保護 (15) ・ ゴミ拾いなどの美化活動 (8) ・ 緑化、木や花を増やす (4) ・ 川をきれいにする (2) ・ ゴミの収集場所や処理方法を変える (2) ・ 日陰を増やす (1)

4	環境教育の充実	0	0	
合計		11	22	

第6章 人を育て、歴史を大切に新しい文化を創造するまち

	施策の柱	市内	市外	主な意見
1	学校教育の充実	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の整備（エアコンの設置など）（2） ・教育環境を快適にする（1） ・（学校以外に）勉強ができる場所をつくる（1） ・（学校以外に）楽器の練習場所をつくる
2	生涯学習の充実	0	0	
3	青少年の健全育成	0	0	
4	スポーツの振興	8	3	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設（スポーツジム、スケートパークなど）をつくる（6） ・スポーツの大会を開催する（2） ・スポーツ活動を盛んにする（3）
5	芸術・文化活動の振興	1	0	・文化の充実（1）
6	歴史資源の保存と活用	2	0	・伝統を守る（2）
合計		14	4	

第7章 市民と行政がともに創る、活力に満ちたまち

	施策の柱	市内	市外	主な意見
1	市民参加・地域主体のまちづくりの推進	4	7	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく楽しいまちづくり（3） ・その他（元気な、よりよいまちづくりなど）（3） ・地域の人々が触れ合うイベントの開催（2） ・地域を活発にする（1） ・選挙の投票率を上げる（1）
2	人権の尊重、男女共同参画社会の形成	0	0	
3	公共施設の整備と適正配置	0	0	
4	地域内外の交流の促進	2	1	・交流を盛んにする（他市、海外、芸能人）（3）
5	開かれた行政と行財政の効率化	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・使わない土地の活用（2） ・予算を均等に分ける（1） ・無駄なハコモノをつくらない（1） ・無駄なお金は使わない（1） ・自分の不祥事をもみ消さない（1） ・みんなの意見を反映させる（1） ・他市や県と協力する（1）
合計		14	8	

